

長野工場CSRレポート

敷地面積： 24,800m²
 従業員数： 193名(2010年5月現在)
 所在地： 長野県下伊那郡高森町吉田548
 受付窓口： 工場管理課
 TEL：0265-35-3211 FAX：0265-35-6884



工場長挨拶



前沢 昇

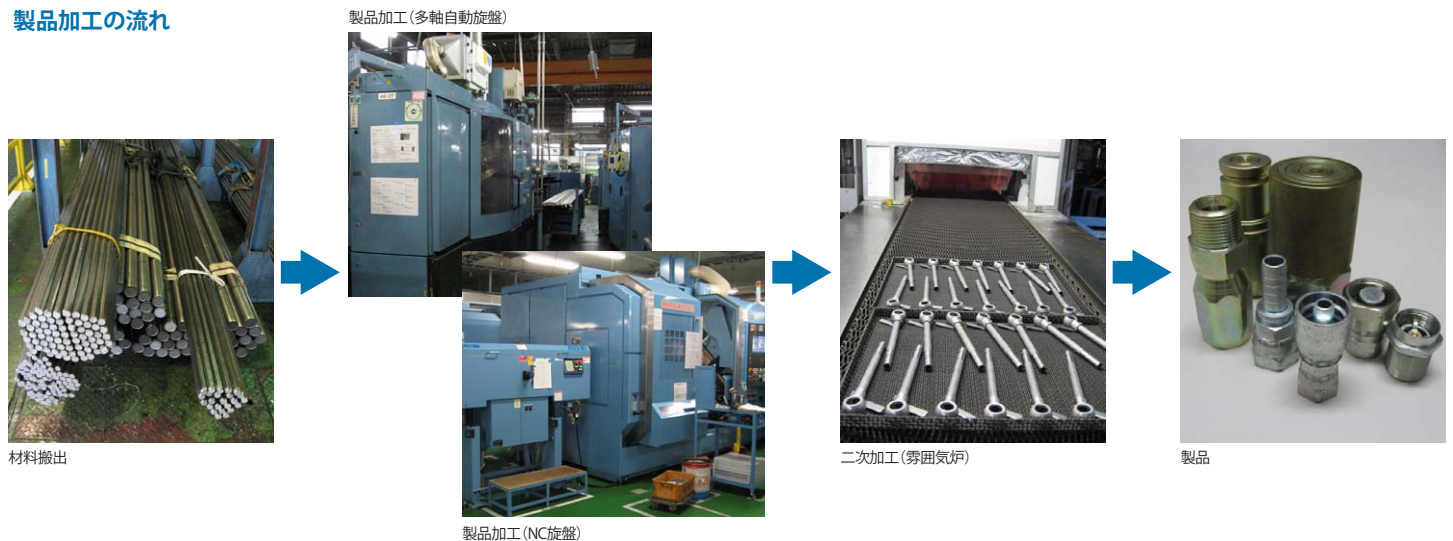
1961年南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな長野県高森町に設立され、横浜ゴムにおいて唯一の金属製品加工工場です。多軸自動盤やNC旋盤をはじめとする工作機械を備え、油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立てを主力生産品目とし、国内外の系列工場と、全国のお客さまへ供給しています。環境への取り組みにつきましては、横浜ゴム中期経営計画『GD100』で掲げている『トップレベルの環境貢献企業になる』を目標とし、金属製品加工に伴う切削屑の完全リサイクル化等循環型社会への貢献、各種工作機械・設備の省エネ化を図るとともに、従業員一丸となった身近な省エネ活動等地球温暖化防止への取り組みを活発に行なっています。

また地域コミュニケーションとして継続しております「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト活動も今年度既に第3期となり、活動がすっかり根付いてきました。最近では地元経営者協会会員さまを対象とした「杜の説明会」、および地域小学校生徒の工場見学会において、この活動の理解を深めていただいています。2010年度も地域を流れます天竜川河川清掃(環境ピクニック)への積極的参加、中高校生の職場体験学習の中で弊社における環境への取り組みを理解いただく機会を増やす等、さらなる地域コミュニケーション活動を充実させ、地域社会の皆さま、従業員とその家族一丸となって地球貢献企業を目指していく所存です。

主な生産品と生産工程

油圧ホース金具、自動車用ホース金具、パワーステアリング用ホース金具

製品加工の流れ



環境への取り組み

2010年度環境方針

横浜ゴム株式会社は「トップレベルの環境貢献企業」を目指す

- (1) 長野工場は、生産から廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷低減に取り組めます。
- (2) 信頼され続ける工場として、環境汚染の予防を図り環境改善を継続的に推進します。
- (3) 地球温暖化対応、省エネルギー、廃棄物の低減に取り組めます。
- (4) 当工場に関連する法規制及び協定等を順守し環境保全に取り組めます。
- (5) 当工場の環境目的・目標を設定し、それに連鎖した各課の目的・目標を達成する為、計画的に実行し、年1回見直しを実施します。
- (6) 工場の全従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動する様、教育と啓蒙を行ない周知徹底します。
- (7) 地域とのコミュニケーションを大切にし、地域に貢献する活動を進めます。
- (8) 本方針は、一般人からの要求に応じ公表します。

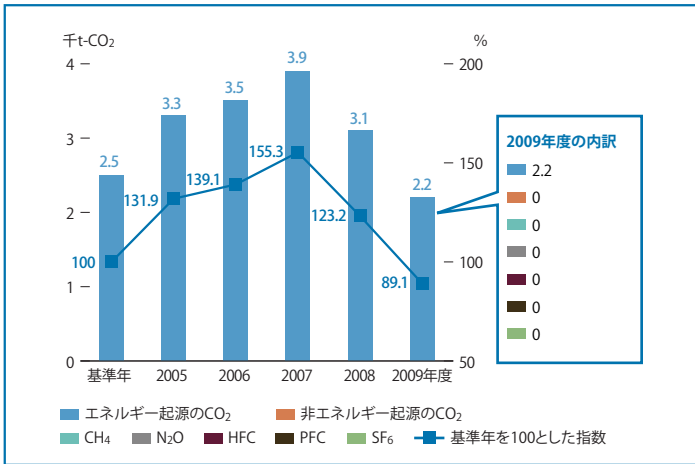
環境への取り組み

PRTR対象物質

2008年度はPRTR法の報告要件を満たす対象物質はありませんでした。

温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数

2007年度の製造品目の変更により、排出量は減少しています。



※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境省公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。また、温対法改正(2010年3月31日)に伴い、燃料種別の発熱量と排出係数を見直しました。

大気関係測定データ(主要施設)

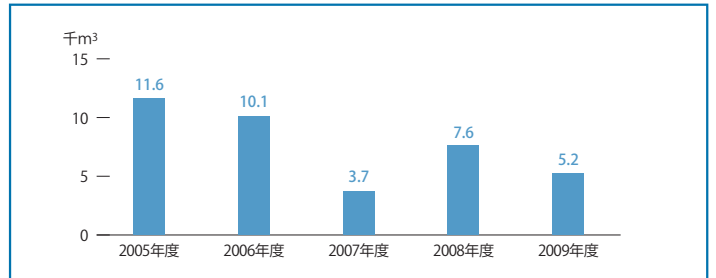
焼却炉施設廃止状況：2000年1月廃止

水質関係測定データ(主要排水)

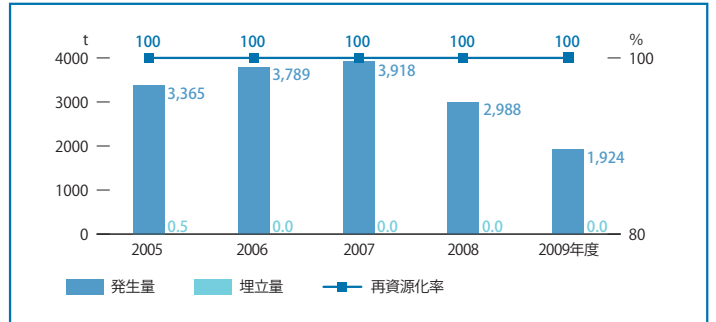
排水口	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
長野工場	PH	5.8~8.6	—	6.9	7.3	6.4
	BOD濃度 (mg/l)	160	22	11	15	6.9
	COD濃度 (mg/l)	160	25	14	22	6.2
	SS濃度 (mg/l)	200	—	10.8	12	9.6
	油分濃度 (mg/l)	5	—	—	—	—

※法規制対象外(自主管理測定で2回以上/年)、規制値は長野県条例に準拠、2009年度も規定違反なし
 ※自主管理値は、BOD・COD濃度のみ設定し、管理しています

水使用量



廃棄物データ



安全への取り組み

2010年度安全方針

基本方針

安全衛生の確保は全ての基本である安全衛生確保は企業活動と不可分な関係と認識し管理者と監督者の強力なリーダーシップと全従業員及び構成員の協力の下に労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりをめざす。

安全衛生方針

- 全従業員及び構成員一人ひとりが安全衛生を全てに優先させ 全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に安全衛生活動の向上を図る。
 - 職場の一人ひとりは職場の決め事を確実に守り安全に徹した作業を行う
 - 管理者・監督者は、不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全衛生を守る責務を負うまた行動に当っては安全に対する自らの姿勢を明確に示すと共に三現主義(現場・現物・現実)に徹し職場の実態を自ら把握する
- 安全衛生に係わる法令・行政指針への積極的な適合を図る
- 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の適切な実施及び運用により潜在的危険を排除するためPDCAを回し 継続的なリスク低減を図る
- “整理整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底する
- 全従業員及び構成員に対して安全衛生の重要性を周知し必要な教育・訓練を実施する
- 安心して働ける快適な職場環境づくりを通じて健康の確保を図り従業員の健康状態に配慮した健康づくりを支援する
- 自動車産業の一翼をになう企業として交通事故防止に取組む

環境リスク対応

油流出対応訓練

2009年6月18日、25日に実施し、計28人参加。



油流出対応訓練の様子

防災訓練

2009年10月2日、5日に実施し、計180人参加。



防災訓練の様子(AED取付け)

環境教育

2009年6月9日、17日、24日に実施し、計180人参加



環境教育する事務局

地域への社会貢献活動

主な地域との貢献活動

清掃活動への参加

2009年6月、(財)長野県テクノ財団が主催する天竜川の清掃活動「環境ピクニック」に従業員32人が参加しました。



天竜川の河原を清掃する従業員

「愛の献血」に協力

2010年4月、「愛の献血」に従業員58人が協力しました。



「愛の献血」に協力

工場見学の受入れ

2010年2月、職業安定協会が主催する地元高校生50人を受入れました。また、2010年5月には高森南小学校の5年生130人が訪れ、物づくりの説明に熱心に耳を傾けていました。



熱心に質問する地元高校生



説明を聞く目が輝いています

社団法人長野県経営者協会主催

「CSR勉強会」受け入れ

2010年3月、長野県下の企業経営者の方々を対象にした研修会で25人の方を受け入れ。女性スタッフによるペーパーレス他CSRの取り組みを紹介した。



CSR活動の掲示板を熱心に見る参加者

地域のスポーツ大会への参加

2009年6月「精密工業会ソフトボール大会」「勤労者交流ソフトボール大会」へそれぞれ25人、10人の従業員が参加しました。



ソフトボール大会の様子

地域ぐるみ環境ISO研究会の取り組みに参加

2009年6月の「環境の日」を記念した地元の一斉行動(ノーマイカー、ライトダウン、ノーマスク)の取り組みに参加。また、エコキャップ回収も進めました。



キャップ回収



2009年5月、「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの第2期植樹会を開催しました。当日は、従業員やその家族190人が参加し、1,043本を植樹しました。

参加従業員の声：松下 好人

家族や友人と参加することで環境に対する関心が高まり、それが環境保全への一歩になると感じています。土地を耕したり、どんぐりから苗を育てるなどの苦労があったからこそ、盛大な植樹祭ができたと思います。



事務局コメント：大平 祐康

長野工場は、南信州の天竜川西側の高台にあり、傾斜地や竹林等が多く、植樹をするには恵まれた環境とはいえません。そのような中、従業員は仕事の傍ら苗木を育てたり、植樹場所の基礎工事を行うなど、千年の杜プロジェクトの準備に取り組んでいます。それぞれが大変な作業ですが、自分たちの手で育てた苗木を、自分たちの手で整備した土壌に植える達成感はひとしおですね。植樹した苗の5年後、10年後の生長した姿を想像すると、自分たちの杜が地球環境保全に貢献しているのだと実感することができます。

